

横浜市総合保健医療センター

理念:「個の尊重」「安心と信頼」を大切に、
質の高いサービス提供を目指します。

第212号

■発行日:令和 5年 8月

■発行:指定管理者

公益財団法人横浜市総合保健医療財団

■発行責任者:総合相談室長 伊藤未知代

〒222-0035

横浜市港北区鳥山町1735番地

☎045(475)0103 Fax.045(475)0101

しらさぎ通信

大雨や暴風を伴う台風6号が、沖縄や九州に大きな影響を与えました。
また、同時に発生した台風7号は、列島縦断の予報もあり、関東地方も引き続き警戒をしています。
蒸し風呂のような猛暑とゲリラ豪雨が続き、皆様のお身体にも大きな負担となっているかもしれません。
この気候に上手に付き合いながら、無理なく、この夏を乗り切りたいですね。

9月の行事食

9/13(水) 夕食 【選択食】

鶏つくね照焼 OR コロッケとエビフライ
栗ご飯・きのこ汁 他

9/20(水) 昼食 【敬老の日】

お赤飯・天ぷら盛り合わせ
野菜の炊き合わせ 他



運動指導員による

集団体操の様子(1F/2F)

～集団体操～

繰り返し継続することで、最初は上手にできない方でも、徐々に慣れていき出来るようになっていきます！
楽しい雰囲気、みなさま集中して取り組んでいます♪





土用の丑の日 ~令和5年7月28日開催~

鰻を食べて夏を乗り切ろう！



鰻にはビタミン A 群と B 群が豊富に含まれ、疲労回復効果や食欲増進効果があるため、夏を乗り切るために食べられるようになったといわれています。鰻のパワーでたくさんの元気な笑顔が溢れました。



やっぱり夏は鰻ね！

元気が出るわ♪



うなぎ、
美味しいわよ～



土用の丑の日
ですね☆



いいお味よ～



7月19日は★選択食の日★

どちらか好きなメニューを
選んでいただきました！



魚のパン粉焼き



チキン南蛮



新型コロナウイルスの全国の感染状況は、7月30日までの1週間では1つの医療機関あたりの平均の患者数が15.91人で、前の週の13.91人を上回り、42の都道府県で増加しています。この数は、自分で行う抗原検査等で陽性判定となっても、医療機関を受診しない人は含まれていないものですので、実際はもっと多くなると考えられます。高齢者施設で働く職員として、感染リスクの高い行動を避けるよう職員一同意識を高めています。
(記：看護部長)